令和８年(2026年)10月20日
長 野 県 農 業 試 験 場

病害虫発生予察　９月月報

（生育概況及び病害虫の調査結果）

令和８年９月の気象表（長野地方気象台発表）

官署等		平均気温　℃			降水量　mm			日照時間　h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長　野	本年	22.4	22.0	20.1	95.0	34.0	40.0	27.9	36.1	38.3
	平年	23.3	21.2	18.5	39.6	51.7	34.2	54.7	49.4	47.1
松　本	本年	21.8	21.6	19.5	116.0	55.0	52.0	26.2	29.6	37.5
	平年	22.8	20.7	17.8	39.2	59.2	49.6	53.6	50.9	46.5
諏　訪	本年	21.4	20.8	19.0	114.5	97.5	79.0	27.5	30.9	35.8
	平年	22.0	20.1	17.3	49.7	70.5	56.8	54.5	50.6	47.8
軽井沢	本年	17.7	17.3	15.8	144.5	87.5	60.5	13.7	23.6	27.5
	平年	18.9	17.0	14.2	71.1	70.2	52.3	44.8	42.8	39.0
飯　田	本年	22.9	22.5	20.5	192.5	81.0	140.5	25.1	32.5	34.1
	平年	23.6	21.7	19.1	52.9	80.3	75.4	55.3	52.2	47.0

上旬は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、期間のはじめと終わりは大雨となった所があった。

中旬は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。

下旬は、晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、28 日は大雨となった所があった。

1　水　稲

（１）水稲の生育状況

水稲の生育概況につきましては、農業試験場ホームページ内の「生育調査」欄に掲載されている「水稲の生育状況（令和８年度）」をご参照ください。

農業試験場ホームページ
（https://www.pref.nagano.lg.jp/nogyoshiken/teirei/index.html）

（２）病害虫の発生状況

①いもち病

９月上中旬の巡回調査における穂いもちの発病地点率は、東信地域では平年と比べやや低く、南信地域及び中信地域では平年と比べ低く、北信地域ではほぼ平年並であった。平均被害籾率は、全般的に平年と比べ低かった（第１表）。

第１表　穂いもち発生状況（９月上中旬調査）

地域	調　査地点数	発病地点率(%)*		平均被害籾率(%)*		被害籾率の発生程度別地点数*2)				
		平年	本年	平年	本年	本年内訳				
						甚	多	中	少	無
東信	15	61.3	53.3	1.1	0.3	0	0	0	8	7
南信	12	51.0	7.7	1.4	0.0	0	0	0	2	13
中信	16	45.3	12.5	0.9	0.0	0	0	0	1	15
北信	14	43.5	42.9	0.4	0.1	0	0	0	6	8
県全体	57	50.1	29.3	1.0	0.1	0	0	0	17	44

発病地点率は巡回調査地点の中で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの
平均被害籾率は巡回調査地点の被害籾率を地域ごとに平均したもの
発病地点率及び平均被害籾率の平年は 2016 年～2025 年の平均値
被害籾率の発生程度別基準は以下のとおり（農作物有害動植物発生予察事業調査実施基準）

程　　度	甚	多	中	少	無
被害籾率(%)	51以上	26～50	11～25	1～10	0

②紋枯病

９月上中旬の巡回調査における発病地点率は、東信地域及び北信地域では平年と比べやや高く、南信地域及び中信地域では平年と比べ低かった。

平均発病株率は、東信地域及び北信地域では平年と比べ高く、南信地域ではほぼ平年並、中信地域では平年と比べ低かった。

③白葉枯病

９月上中旬の巡回調査では、発生はみられなかった。

④稲こうじ病

９月上中旬の巡回調査における発病地点率は、全般的に平年と比べ低かった。

平均発病株率は、全般的に平年と比べ低かった。なお、南信地域、中信地域及び北信地域では発生はみられなかった（第２表）。

第２表　稲こうじ病の発生状況（９月上中旬調査）

地域	調　査 地点数	発病地点率(%)		平均発病株率(%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	15	11.6	6.7	2.2	0.1
南信	12	12.2	0	0.7	0
中信	16	1.6	0	0.1	0
北信	14	6.1	0	0.3	0
県全体	57	7.7	1.7	0.7	0

発病地点率は巡回調査で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの
平均発病株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの
平年は2016年～2025年の平均値

⑤コブノメイガ

９月上中旬の巡回調査では、幼虫による被害葉はみられなかった。

⑥セジロウンカ

９月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）における成虫平均捕獲頭数は、全般的に平年と比べ少なかった。

⑦ツマグロヨコバイ

９月上中旬のすくい取り調査（本田ネット 20 回振）における成虫平均捕獲頭数は、東信地域、南信地域及び中信地域では平年と比べ多く、北信地域ではほぼ平年並であった。

⑧トビイロウンカ

県下７地点の予察灯では、誘殺はみられなかった。

また、９月上中旬の巡回調査ほのすくい取り調査（本田ネット 20 回振）では、捕獲されなかった。

⑨ニカメイガ（第２世代）

９月上中旬の巡回調査における白穂発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域では平年と比べ高かった。なお、南信地域及び中信地域及び北信地域では発生はみられなかった。

白穂株率は、東信地域では平年と比べやや低く、北信地域では平年と比べやや高かった（第３表）。

第３表　ニカメイガによる白穂発生状況（９月上中旬調査）

地域	調　査 地点数	白穂発生地点率(%)		平均白穂株率(%)	
		平年	本年	平年	本年
東信	15	21.8	20.0	2.5	2.1
南信	12	1.6	0	0.1	0
中信	16	0.6	0	0	0
北信	14	1.2	7.1	0.1	0.3
県全体	57	5.7	7.0	0.6	0.6

発病地点率は巡回調査で発生が確認された地点の割合を地域ごとに示したもの
平均白穂株率は巡回調査地点の発病株率を地域ごとに平均したもの
平年は2016年～2025年の平均値

⑩斑点米カメムシ類

９月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）における捕獲地点率は、東信地域、南信地域及び北信地域では平年と比べ高く、中信地域では平年と比べ低かった。

平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ多く、北信地域では平年と比べやや多く、南信地域及び中信地域では平年並であった。

捕獲された主要種は、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシの順に多かった。なお、クモヘリカメムシは南信地域に限って捕獲された（第４表）。

第４表　すくい取り調査における斑点米カメムシ類の捕獲状況（９月上中旬）

地域	調査 地点数	捕獲地点率 (%)		平均捕獲頭数 (頭)		種別捕獲頭数合計(頭)					
		平年	本年	平年	本年	計	ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ	ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ	ｱｶﾋｹﾞﾎｿﾐﾄﾞﾘｶｽﾐｶﾒ	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	その他
東信	15	20.3	66.7	0.4	15.7	236	230	1	5	0	0
南信	12	37.8	53.8	3.0	2.8	36	24	4	0	6	2
中信	16	42.0	29.4	1.4	1.4	23	16	1	4	0	2
北信	14	28.8	47.1	1.0	1.9	33	15	11	7	0	0
県全体	57	32.9	48.4	1.5	5.3	328	285	17	16	6	4

調査方法は本田においてすくい取り（ネット20回振）で捕獲された斑点米カメムシ類（成虫＋幼虫）を調査
捕獲地点率（%）は調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合
平均捕獲頭数は捕獲頭数計（成虫数＋幼虫数）÷調査地点数
平年は2017年～2025年の平均値

⑪イチモンジセセリ（イネツトムシ）

９月上中旬の巡回調査における「つと」の平均確認数は、東信地域及び北信地域ではほぼ平年並、南信地域では平年と比べ多く、中信地域では「つと」はみられなかった。

⑫クサキリ類

９月上中旬のすくい取り調査（本田ネット20回振）における捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ多く、南信地域及び中信地域では平年と比べ少なく、北信地域では平年と比べやや多かった。

果樹の生育概況

令和８年産の果樹生育概況は、果樹試験場ホームページの定例調査にある「令和８年の生態調査結果」および南信農業試験場ホームページの調査速報にある「令和８年果樹生態調査」を参照ください。

果樹試験場ホームページ
（https://www.pref.nagano.lg.jp/kajushiken/chosa/teirei/index.html）
南信農業試験場ホームページ
（https://www.pref.nagano.lg.jp/nannoshiken/joho/sokuho/index.html）

２　りんご

（１）病害虫の発生状況

①褐斑病

９月上旬の巡回調査では、中信地域を除く県下で広く発生がみられた。発生量は平年並であったが、秋季に入り発病ほ場数が急増している。

②斑点落葉病

９月下旬の巡回調査では、東信地域および北信地域の一部でわずかに発生がみられた。

③輪紋病

９月上旬の巡回調査では、東信地域および北信地域の一部でわずかに発生がみられた。

④炭疽病

９月上旬の巡回調査では、東信地域および北信地域の一部でわずかに発生がみられた。

⑤キンモンホソガ

須坂市（果樹試験場）における９月のフェロモントラップによる誘殺頭数は、第６半旬を除き平年と比べ少なかった（第１表）。

第１表　キンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	404.4	432.5	298.0	357.7	368.1	195.2
前年	244	203	253	327	282	133
本年	58	174	238	119	296	235

平年は2016年から2025年までの平均値

⑥シンクイムシ類

９月下旬の巡回調査では、果実の被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、９月第１半旬から第３半旬にかけて、平年と比べかなり多かった（第２表）。また同スモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺頭数では、９月の第３世代成虫の発生は平年並～やや多かった（第３表）。

第２表　モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	7.8	9.0	6.5	5.6	1.1	0
前年	7	27	18	11	6	0
本年	35	21	14	4	3	1

平年は2016年から2025年までの平均値

第３表　スモモヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	25.5	26.4	22.6	13.1	14.2	12.8
前年	21	27	15	12	9	10
本年	53	19	22	10	17	4

平年は2016年から2025年までの平均値

⑦ハダニ類

リンゴハダニは、９月上旬の巡回調査では、中信地域を除き広く発生があった。しかし９月下旬の巡回調査では、発生地点数、発生量とも減少した。

またナミハダニも９月上旬の調査では県下広く発生が確認されたが、９月下旬の調査では、発生がみられない地点が増え、みられても１頭/葉以下であった。

⑧リンゴコカクモンハマキ

９月下旬の巡回調査では、果実への被害はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）設置のフェロモントラップへの９月の誘殺は、第６半旬に１頭だけ確認された（第４表）。

第４表　リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0	0	0	0.1	0.3	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	1	0

平年は2016年から2025年までの平均値

３　なし

（１）　病害虫の発生状況

① カメムシ類

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は 20 頭で、昨年の 33 頭よりもわずかに少なかった（第１表）。

第１表　カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	月	９月					
	半旬	1	2	3	4	5	6
ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼ	平年	0.2	0	0.1	0.5	0.7	0.5
	前年	0	0	0	0	0	0
	本年	1	0	0	1	0	0
ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼ	平年	10.5	4.8	5.9	4.4	1.4	0.9
	前年	16	2	10	4	0	1
	本年	9	4	3	4	0	0

平年は2016年から2025年までの平均値

② ナシヒメシンクイ

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップでは第３世代成虫の誘殺ピークは９月上旬頃で昨年とほぼ同じで、平年並だった（第２表）。

第２表　ナシヒメシンクイのフェロモントラップへの誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	16.6	15.8	12.1	11.5	4.6	3.7
前年	26.5	42.5	24.0	19.0	10.0	9.0
本年	36.5	22.0	23.5	22.0	17.5	11.0

平年は2016年から2025年までの平均値

③ モモシンクイガ

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップへの誘殺はみられなかった（第３表）。例年、第１世代成虫の発生は９月上旬頃終息する。

第３表　モモシンクイガのフェロモントラップへの誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0.4	0.1	0.1	0	0	0
前年	0	0.5	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2016年から2025年までの平均値

④ リンゴコカクモンハマキ

第３世代成虫は８月下旬から９月下旬に発生するが、高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップへの誘殺はほとんどなく、発生消長はわからなかった（第４表）。

第4表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップへの誘殺消長（頭）

高森町（南信農業試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0.6	0.4	0.4	0.7	0.5	0.4
前年	0	1	0	0	1.5	1
本年	0	0	0	0	0	0.5

平年は2016年から2025年までの平均値

4 もも

（１）病害虫の発生状況

①シンクイムシ類

長野市（病害虫防除部）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺は、確認されなかった（第１表）。

第１表　モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

長野市（病害虫防除部）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	―	―	―	―	―	―
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

2024年から調査ほ場を変更

②モモハモグリガ

９月上旬の巡回調査では被害葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ少なかった（第２表）。

第２表　モモハモグリガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

須坂市（果樹試験場）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	120.2	260.9	106.0	104.4	73.8	39.5
前年	5	4	13	14	9	15
本年	15	28	39	24	28	10

平年は2016年から2025年までの平均値

5 ぶどう

（１）病害虫の発生状況

①晩腐病

９月上旬の巡回調査では、袋掛けにより確認できなかった北信地域の巡回地点を除き、その他の調査した地点では、発病した果房はみられなかった。

②さび病

９月上旬の巡回調査では発生はみられなかった。

③べと病

９月上旬の巡回調査では、南信地域を除いて発生がみられ、特に北信地域では調査地点の８割で発生がみられ、発病新梢率が最も高い地点では、20％であった。

④灰色かび病

９月上旬の巡回調査では、袋掛けにより確認できなかった北信地域の巡回地点を除き、その他の調査した地点では、発病した果房はみられなかった。

⑤黒とう病

９月上旬の巡回調査では、袋掛けにより確認できなかった北信地域の巡回地点を除き、その他の調査した地点では、発病した果房はみられなかった。

また新梢への発生はいずれの地点でもみられなかった。

⑥クビアカスカシバ

９月上旬の巡回調査では、主幹および主枝の被害はみられなかった。

小布施町のフェロモントラップにおける９月の誘殺は、第１半旬に１頭のみみられ、その後は観察されず、本年の成虫の飛来は終了したと考えられる（第１表）。

第１表　クビアカスカシバのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

小布施町（病害虫防除部）

区分	９月					
半旬	1	2	3	4	5	6
平年	0	0.1	0	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	1	0	0	0	0	0

平年は2016年から2025年までの平均値

6　か　き

（1）病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査ほでは、６月上旬から継続して発生がみられた。

②炭疽病

巡回調査ほでの発生はみられなかった。

③円星落葉病

巡回調査ほでの発生はみられなかった。

④カキクダアザミウマ

巡回調査ほでの寄生および被害果はみられなかった。

⑤カキノヘタムシガ

巡回調査ほでの寄生および食害はみられなかった。

⑥ハマキムシ類

巡回調査ほでの寄生および食害はみられなかった。

⑦フジコナカイガラムシ

巡回調査ほでの寄生はみられなかった。

7　野菜・花き

（1）病害虫の発生状況

①トマトの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、東信地域の露地栽培で輪紋病の発生、ウイルス症状、オオタバコガの被害株及びハダニ類、アザミウマ類の寄生がみられた。北信地域の施設栽培でうどんこ病、葉かび病の発生及びオンシツコナジラミのほか、ハモグリバエ類の寄生が多かった。

②きゅうりの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、南信地域の施設栽培でアザミウマ類、タバココナジラミの寄生がみられた。中信地域の施設栽培ではうどんこ病、べと病の発生、アザミウマ類、ワタヘリクロノメイガの寄生がみられた。北信地域の施設栽培では、うどんこ病、褐斑病、べと病の発生がみられ、露地栽培では、褐斑病、べと病、灰色かび病の発生が多かったほか、ウイルス症状株がわずかにみられた。アザミウマ類の寄生もみられたが、８月に比べ少なくなった。

③いちごの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、アザミウマ類の寄生がみられたが、８月よりも減少していた。

④キャベツの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、東信地域でウワバ類、オオタバコガ等のチョウ目害虫の被害のほか、一部でアザミウマ類の寄生がみられた。病害では、黒斑病、黒腐病、株腐病の発生がみられた。中信地域の一部のほ場ではオオタバコガの寄生がみられ、北信地域でもオオタバコガ、ウワバ類の寄生のほか、黒腐病、黒斑細菌病の発生がみられた。

⑤ブロッコリーの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、東信地域の一部のほ場で黒腐病の発生及びアザミウマ類の寄生、チョウ目害虫の被害がみられ、南信地域ではウワバ類等チョウ目害虫の被害がみられた。

⑥はくさいの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、東信地域でアブラムシ有翅成虫の着生、チョウ目害虫の被害がみられ、病害では黒斑病、べと病、ピシウム腐敗病の発生ほか、ウイルス症状株もみられた。中信地域では軟腐病の発生がみられた。

⑦レタスの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、東信地域で斑点細菌病、すそ枯病の発生がみられた。中信地域においても、斑点細菌病、すそ枯病のほか、軟腐病の発生がみられた

⑧セルリーの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、病害虫の発生はみられなかった。

⑨アスパラガスの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、全域でアザミウマ類の寄生がみられたほか、南信地域では、ハダニ類が多く、一部でアブラムシ類の寄生がみられた。東信及び北信地域では、オオタバコガ等のチョウ目害虫の被害のほか、北信地域の一部でハダニ類の寄生がみられた。病害では、東信、南信、北信地域で茎枯病の発生がみられ、８月下旬調査時よりも病勢は進展していた。また、北信地域（露地及び雨よけ栽培）では斑点病、褐斑病の発生がみられた。

⑩ねぎの病害虫

９月上旬及び下旬の巡回調査では、南信及び中信地域で黒斑病、さび病の発生、アザミウマ類、ネギハモグリバエの被害がみられた。また、南信地域ではヨトウガ類による被害もみられた。

⑪ながいもの病害虫

９月下旬の巡回調査では、北信地域でナガイモコガの寄生がみられた。

⑫きくの病害虫

９月上旬の巡回調査では、南信地域でアザミウマ類の寄生がみられた。

⑬コナガ（アブラナ科野菜）

〈フェロモントラップによる誘殺頭数〉

塩尻市、小諸市、原村、長野市では、平年と比べ少なかった。

上田市では、概ね平年並、朝日村では、半旬により平年並から少なく、全般

的に少発生であった（第１表）。

第１表　コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	5.9	1.9	3.8	3.7	1.9	3.3
		本年	0	0	0	0	1	0
小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）	レタス	平年	8.8	15.0	14.1	12.9	13.0	10.3
		本年	2	11	1	2	2	0
上田市菅平（地区発生予察ほ）	はくさい	平年	6.1	3.2	3.6	3.3	3.7	1.2
		本年	7	3	0	0	2	1
原村判之木（防除適期決定ほ）	ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	平年	35.5	30.0	24.9	34.1	37.5	23.2
		本年	15	18	12	10	9	7
朝日村古見（地区発生予察ほ）	はくさい	平年	20.8	10.0	11.6	7.8	7.6	8.8
		本年	8	8	7	6	5	5
長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	23.3	28.1	34.2	30.5	25.3	21.6
		本年	0	0	1	0	2	5

平年は2016年から2025年までの平均値

朝日村は2019年から2025年までの平均値

⑭オオタバコガ

〈フェロモントラップによる誘殺頭数〉

塩尻市、小諸市では、半旬により平年値との差がみられるが、９月を通しては概ね平年並みであった。

須坂市では、第１～第４半旬は平年よりも少なかったが、第５～第６半旬は平年よりも多かった（第２表）。

第２表　オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	52.3	58.6	65.1	69.8	58.2	59.4
		本年	67	50	28	51	79	58
小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）	レタス	平年	51.2	57.5	66.6	69.9	78.2	64.7
		本年	42	56	71	84	81	66
須坂市小河原（農業試験場）	さつまいも・水稲	平年	27.6	31.8	34.9	45.1	42.4	46.8
		本年	26	20	19	26	84	64

平年は2016年から2025年までの平均値

⑮ヨトウガ類

〈ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺頭数〉

塩尻市では、第１半旬は平年よりも多かったが、第２半旬以降は概ね平年並みであった。須坂市では、概ね平年並であった（第３表）。

〈ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺頭数〉

塩尻市では、第３～第４半旬は平年並、それ以外の期間は平年と比べ多かった。

須坂市では、第１～第３半旬は平年よりも少なかったが、第４半旬以降は平年よりも多くなり、特に第５～第６半旬は著しく多かった。

上田市では、第４半旬を除き、平年よりも少なかった（第４表）。

〈シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺頭数〉

塩尻市、長野市では、半旬により平年値との差がみられるが、９月を通しては概ね平年並みであった（第５表）。

第３表　ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	26.0	23.6	18.4	18.5	16.7	11.2
		本年	36	25	18	17	19	14
須坂市小河原（農業試験場）	さつまいも・水稲	平年	4.8	5.8	3.0	2.3	1.2	1.2
		本年	1	3	4	2	3	3

平年は2016年から2025年までの平均値

第４表　ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	62.1	63.3	78.5	66.1	69.6	66.2
		本年	86	107	76	68	92	137
須坂市小河原（農業試験場）	さつまいも・水稲	平年	111.3	187.4	159.3	141.6	215.2	167.9
		本年	43	13	1	189	623	774
上田市菅平（地区発生予察ほ）	はくさい	平年	13.4	12.3	13.7	16.6	14.8	13.8
		本年	1	3	10	20	5	8

平年は2016年から2025年までの平均値
須坂は2024年を除く10年の平均値。

第５表　シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	57.9	38.2	46.1	43.4	47.5	30.1
		本年	47	33	8	37	49	56
長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	5.5	5.6	7.5	6.4	5.9	3.1
		本年	4	4	8	11	10	3

平年は 2016 年から 2025 年までの平均値
長野市は 2018 年から 2025 年までの平均値

⑯ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

９月下旬の巡回調査では、南信地域及び中信地域のねぎ、北信地域のトマト（施設栽培）で寄生がみられた。

⑰アザミウマ類（ネギアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなど）

〈青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数〉

上田市では、第６半旬は平年よりも多かったが、９月を通しては平年よりも少なかった。

富士見町では、平年との比較はできないが、第１～第５半旬は一定量の誘殺がみられ、第６半旬は少なくなった。

塩尻市では、第５半旬は平年よりも多かったが、それ以外の期間は少なかった。

長野市では、全期間で平年よりもかなり少なかった（第６表）。

第６表　アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
上田市菅平（地区発生予察ほ）	はくさい	平年	16.1	19.5	18.8	15.5	5.8	3.5
		本年	5	10	7	3	6	8
富士見町立沢（地区発生予察ほ）	きく	平年	－	－	－	－	－	－
		本年	21	23	25	27	23	7
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	レタス	平年	42.4	37.6	54.9	21.5	27.1	24.1
		本年	19	19	23	17	114	9
長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	74.6	82.0	53.9	56.3	67.3	24.1
		本年	3	3	2	0	0	0

平年は塩尻市では2017年から2025年までの平均値
上田市・長野市は2018年から2025年までの平均値
富士見町は調査地点変更により平年値無し

⑱アブラムシ類（野菜・花き全般）

〈黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数〉

塩尻市宗賀では、第２～第３半旬は平年よりも多かったが、それ以外の期間は平年並～少なかった。

小諸市では、第２～第３半旬は平年並、それ以外の期間は平年よりも少なかった。

上田市では、第１～第３半旬は平年よりもやや多かったが、わずかな誘殺頭数で推移した。

富士見町では、全期間でわずかな誘殺頭数で推移した。
少なく推移した。

塩尻市洗馬では、第１半旬は平年よりも少なかったが、第２半旬以降は概ね平年並みであった。

長野市では、全期間で平年よりも多かった（第７表）。

第７表　アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	９月					
		半旬	1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀（野菜花き試験場）	キャベツ・はくさい	平年	31.4	28.7	23.1	8.8	6.2	4.6
		本年	29	44	31	10	1	3
小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）	レタス	平年	22.7	18.7	20.4	11.6	4.8	11.0
		本年	6	17	20	6	2	0
上田市菅平（地区発生予察ほ）	はくさい	平年	0.9	1.8	1.1	0.9	0.4	0.5
		本年	4	3	4	1	1	1
富士見町立沢（地区発生予察ほ）	きく	平年	－	－	－	－	－	－
		本年	3	3	4	3	2	0
塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）	レタス	平年	44.3	31.9	19.7	7.4	4.8	4.9
		本年	23	29	21	9	5	2
長野市上ケ屋（地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	4.0	6.6	5.5	1.0	0.8	0.8
		本年	10	12	29	12	6	3

平年は塩尻市・小諸市は2017年から2025までの平均値
上田市・長野市は2018年から2025年までの平均値
富士見町は調査地点変更により平年値無し